

太田女子高等学校 高2学年

進学講演会資料

2024年9月12日

学校法人河合塾 進学アドバイザー | 森口 和彦

河合塾

努力した者が成功するとは限らない
しかし、成功した者は必ず努力している

「学力のピークはいつに持っていけば良い？」と塾生に聞くと

「△ △ △ △ △ の日」という答えがもっとも多いです。

これが正しいとすれば今日からあと○○○日後です。

もう1年もありません。

あと○○○日で学力を最大限上げねばなりません。

「大学入学共通テストです」と答えた塾生には

「理想は□□□□□の日」と伝えています。

入試はメンタルに大きく左右されます。

模試で良い判定を取って受験する受験生と、思うような判定を取れずに受験する受験生はどちらが有利だと思いますか？

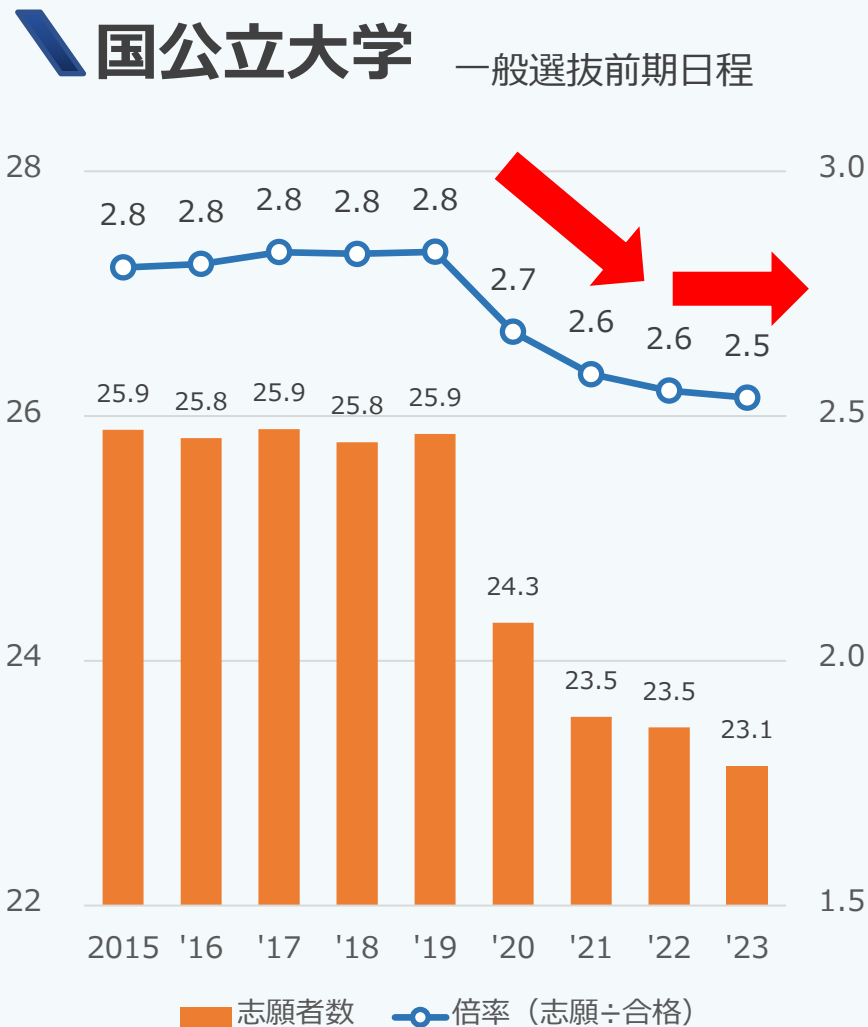
河合塾の最後の模試は11月16日の全統プレ共通テストです。

今日を入れて○○○日しかありません。

無駄に焦る必要はありませんが、受験スケジュール上、今どのあたりにいるかは再確認してください。

- Part.1** 最新！大学入試情報
- Part.2** 入試の仕組み
- Part.3** これからの学習のポイント

Part.1 最新！大学入試情報



国公立・私立ともに2021年度以降倍率が低下している
 = 挑戦が以前よりも報われる入試になってきている！

国公立大の全体概況－地方で進む競争緩和

● 日程別

日程	志願者数		合格者数		倍率（志/合）	
	2024	前年比	2024	前年比	'23	'24
前期	232,341	100%	91,593	100%	2.5	2.5
後期	159,846	100%	20,516	99%	7.7	7.8
中期	31,068	98%	5,180	101%	6.2	6.0

※河合塾調べ

● 地区別倍率の推移

地区	倍率（志/合）				
	2020	'21	'22	'23	'24
北海道	2.4	2.3	2.3	2.3	2.1
東北	2.6	2.5	2.5	2.4	2.3
北関東・甲信越	2.6	2.3	2.3	2.3	2.4
首都圏	3.2	3.1	3.1	3.2	3.2
北陸・東海	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4
近畿	2.6	2.6	2.7	2.7	2.7
中国・四国	2.6	2.5	2.4	2.2	2.2
九州	2.5	2.4	2.4	2.3	2.3

※河合塾調べ、前期日程で集計

（参考）募集区分別 実質倍率の占有率

実質倍率	占有率		
		国立	公立
2.0倍未満	47%	50%	40%
2.0～3.0倍未満	36%	35%	40%
3.0倍以上	17%	16%	20%

※河合塾調べ、前期日程で集計

- 今春の国公立大入試は各日程とも志願者数・合格者数に前年から大きな変化はなく、全体としては前年並みの入試であった。
- この5年間の各地区の倍率の推移をみると、首都圏、近畿圏は5年前と同水準を保っているが、その他の地区は徐々にダウン、2倍台前半まで緩和している。
- 募集区分別の実質倍率を集計すると、47%が2.0倍未満となった。

国公立大入試のトピック－各大学グループで合格率がアップ

各大学グループの合格率を成績層別でみると、すべての成績層で5年前より合格率がアップしている。難関10大学では偏差値55～60未満の合格率アップが目立っており、合格者の分布も同偏差値帯の合格者占有率が上昇していることがみてとれる。

成績層別 合格率の推移（2019→2024年度）

● 難関10大学

受験者の 成績層	合格率		
	2019	2024	(24-19)
65以上	61%	64%	(+3%)
60～65未満	44%	46%	(+2%)
55～60未満	28%	33%	(+5%)
50～55未満	13%	13%	(+0%)
45～50未満	3%	4%	(+1%)
45未満	2%	3%	(+1%)

● その他大学

受験者の 成績層	合格率		
	2019	2024	(24-19)
65以上	65%	71%	(+6%)
60～65未満	58%	64%	(+6%)
55～60未満	56%	62%	(+6%)
50～55未満	49%	58%	(+9%)
45～50未満	38%	48%	(+10%)
45未満	18%	32%	(+14%)

● 準難関・地域拠点大学

受験者の 成績層	合格率		
	2019	2024	(24-19)
65以上	66%	68%	(+2%)
60～65未満	59%	64%	(+5%)
55～60未満	49%	55%	(+6%)
50～55未満	35%	42%	(+7%)
45～50未満	19%	24%	(+5%)
45未満	5%	10%	(+5%)

※河合塾入試結果調査データより

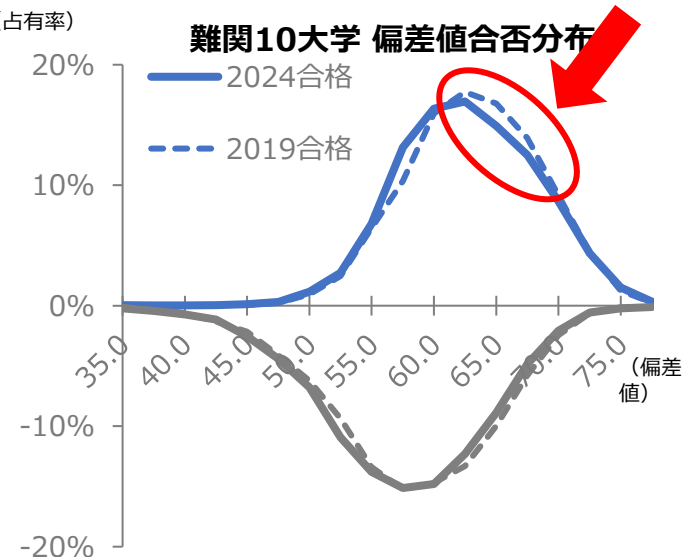
※前期日程で集計

※受験者の成績層は模試時の成績を利用

※難関10大：北海道大、東北大、東京大、東京工業大、一橋大、名古屋大、京都大、大阪大、神戸大、九州大

※準難関・地域拠点大学：筑波大、千葉大、東京都立大、横浜国立大、新潟大、金沢大、大阪公立大、岡山大、広島大、熊本大

(占有率)



※河合塾入試結果調査データより
※前期日程で集計

私立大入試のトピックー成績層別合格率の変化（首都圏）

首都圏の各大学グループの合格率を成績層別でみると、すべての成績層で5年前より合格率がアップしている。早慶上理では偏差値60以上で合格率が10%アップしており、合格者の分布も偏差値60以上で大きな変化がみられる。

成績層別 合格率の推移（2019→2024年度）

● 早慶上理

受験者の 成績層	合格率		
	2019	2024	(24-19)
65以上	52%	62%	(+10%)
60～65未満	21%	31%	(+10%)
55～60未満	10%	15%	(+5%)
50～55未満	5%	6%	(+1%)
45～50未満	3%	3%	(+0%)
45未満	3%	4%	(+1%)

● 成成明國武

受験者の 成績層	合格率		
	2019	2024	(24-19)
65以上	79%	86%	(+7%)
60～65未満	63%	82%	(+19%)
55～60未満	35%	63%	(+28%)
50～55未満	17%	39%	(+22%)
45～50未満	6%	17%	(+11%)
45未満	3%	6%	(+3%)

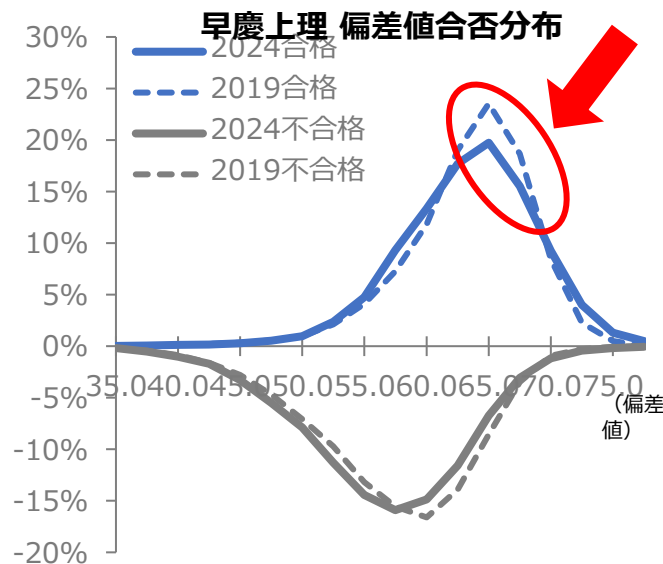
● MARCH

受験者の 成績層	合格率		
	2019	2024	(24-19)
65以上	72%	77%	(+5%)
60～65未満	45%	58%	(+13%)
55～60未満	21%	35%	(+14%)
50～55未満	7%	15%	(+8%)
45～50未満	3%	5%	(+2%)
45未満	1%	2%	(+1%)

● 日東駒専

受験者の 成績層	合格率		
	2019	2024	(24-19)
65以上	72%	79%	(+7%)
60～65未満	73%	84%	(+11%)
55～60未満	53%	75%	(+22%)
50～55未満	33%	61%	(+28%)
45～50未満	20%	41%	(+21%)
45未満	11%	24%	(+13%)

(占有率)



※河合塾入試結果調査データより

※河合塾入試結果調査データより ※受験者の成績層は模試時の成績を利用

※早慶上理：早稲田・慶應義塾・上智・東京理科大学 MARCH：明治・青山学院・立教・中央・法政 成成明國武：成蹊・成城・明治学院・國學院・武蔵 日東駒専：日本・東洋・駒澤・専修

早慶上

偏差値60～62.5層の合格する人の割合が5人に1人から3人に1人に

MARCH

偏差値55～60層の合格する人の割合が5人に1人から3人に1人に

共通テスト 出題トピック

- ・「日常の事象を意識した場面設定」「複数資料の提示」「学習の過程を意識した出題設定」といった共通テストの特徴的な出題傾向は継続。
- ・問題分量は前年よりさらに増加した科目も見られる。7科目受験した場合の問題冊子ページ総数は、センター試験時と比べ50～60ページ増（3割増）。
- ・解答形式では本試で初めて連動型問題（連続した設問で最初の設問の解答により、次の設問の解答が変わる問題）が出題された。

▼大学入学共通テスト 問題冊子ページ数変化

科 目	問題冊子ページ数		
	23年度	24年度	前年差
英語（リーディング）	34	35	+1
英語（リスニング）	20	20	±0
国語	48	46	-2
世界史B	32	32	±0
日本史B	32	32	±0
地理B	34	34	±0
現代社会	38	40	+2
倫理	37	37	±0
政治経済	36	39	+3
倫理,政治経済	39	39	±0

科 目	問題冊子ページ数		
	23年度	24年度	前年差
数学Ⅰ・数学A	26	29	+3
数学Ⅱ・数学B	26	26	±0
物理基礎	15	17	+2
化学基礎	12	12	±0
生物基礎	14	18	+4
地学基礎	17	14	-3
物理	28	23	-5
化学	26	33	+7
生物	29	28	-1
地学	30	30	±0

※大学入学共通テストの主な科目について本試験問題冊子で比較

11 共通テストの変更点

教科	出題科目	解答時間	配点	備考
外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	80分	200点	1科目を選択 英語はリーディングで別途リスニング (解答時間30分)を実施(配点は各100点)
数学①	数学Ⅰ 数学Ⅰ・数学A	70分	100点	1科目を選択
数学②	数学Ⅱ・数学B・数学C	70分	100点	
国語	国語	90分	200点	近代以降の文章110点、古文45点、漢文45点
理科	物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎 物理 化学 生物 地学	1科目 60分	1科目 100点	④ 近代以降の文章の大問追加 最大2科目選択可
地理歴史 ・公民	地理総合・歴史総合・公共 地理総合・地理探究 歴史総合・日本史探究 歴史総合・世界史探究 公共・倫理 公共・政治経済	1科目 60分	1科目 100点	最大2科目選択可 (組み合わせ制限あり)
情報	情報Ⅰ	60分	100点	② 教科「情報」を出題

③
数学②・国語
試験時間
10分延長

①
新課程に対応
した出題科目

④ 近代以降の文章の大問追加

2025年度入試の注目ポイントー教育課程の改訂に対応した入試スタート

ここに注目！**共通テストの変更点**

- **新科目「情報Ⅰ」登場（試験時間60分、配点100点）**
- **「国語」は「近代以降の文章」が2→3問に増加、試験時間10分延長**
分野別の配点は、近代以降の文章110点、古文45点、漢文45点に
- 「数学②」は『数学Ⅱ,数学B,数学C』の1科目のみに
選択問題は1問増加して4問中3問解答、試験時間は10分延長
- 「地歴・公民」の出題科目は10→6科目に
- 理科の試験時間一本化に伴い、「理科基礎」も解答順が第1解答科目の対象に
- 得点調整に新条件
「平均点差20点以上」に加え、「平均点差15点以上かつ段階表示の区分点差20点以上」に変更
- **英語大問6題構成から大問8題構成へ（予定）**

共通テスト時間割（イメージ）

	1 日目	2 日目
9:30	9:30※～11:40（130分） 地理歴史・公民（2科目） ※1科目受験者は10:40～	9:30※～11:40（130分） 理科（2科目） ※1科目受験者は10:40～
13:00	13:00～14:30（90分） 国語	13:00～14:10（70分） 数学①
	15:20～16:40（80分） 外国語	15:00～16:10（70分） 数学②
	17:20～18:20（60分） 英語リスニング	17:00～18:00（60分） 情報

※大学入試センター資料より作成（2022.11現在）

大学名	学部名	学科名	ボーダー得点率	ランク偏差値
東北	工	機械知能航空	78	60.0
筑波	社会・国際	国際総合	77	62.5
筑波	生命環境	生物資源	76	55.0
北海道	法	法学	75	60.0
東北	法	法	74	60.0
北海道	水産		73	55.0
埼玉	経済	経済	67	55.0
埼玉	理	分子生物	67	
茨城	人文社会	法律経済	65	47.5
群馬県立女子	国際コミュ		63	
山形	人文社会	グローバル	62	50.0
香川	農	応用生物科学	57	47.5
群馬	理工	電子・機械	56	42.5
山形	農	食料生命環境	54	40.0
茨城	農	地－地域共生	53	47.5

大学名	学部学生数	教員数	教員一人当たり 学生数
東京	13,974	2,336	6.0
山形	7,284	511	14.3
茨城	6,764	440	15.4
宇都宮	4,069	335	12.1
群馬	5,035	411	12.3
埼玉	6,675	356	18.8
早稲田	37,827	1,213	31.2
慶應義塾	28,747	1,295	22.2
明治	32,261	816	39.5

※教員は教授・准教授

学問を究めたいのであれば国公立大学がおすすめ

滋賀大学	伝統ある国立大なので、教授陣の講義はすばらしいです。経済学・経営学に興味があればお勧めです。
三重大学	ウミガメ、スナメリの研究で有名です。
東京海洋大学	全国の水族館館長は、多くがここ出身。海洋生物の最先端の研究ができます。 船舶を中心とした機械工学系もあります。
京都工芸繊維大学	蚕(カイコ)研究では世界有数。デザイン系もあり、他大学とは一味違う国立理系大学。 半導体業界就職率ランキングでは東京科学大学、電気通信大学に次ぐ3位でした。
山梨大学	ワインを専門に研究する学科がある。醸造学・発酵学を深く学べます。
福井県立大学	日本唯一の恐竜学部があります。
鳥取大学	乾燥地（砂漠など）の緑地化を研究する乾燥地研究センターがあり全国から学生が集まっています。

教育未来創造会議「第一次提言」（2022年5月）では、未来を支える人材育成に向けて、大学に変化を求めている。理系学部の強化、文理横断教育の推進を掲げる一方、「変わらない」大学に対しての厳しい姿勢が示されている。

変化推進への支援



成長分野への再編促進

デジタル、グリーンなど成長分野の学部へ転換する公立・私立大へ支援金支給



文理横断教育の推進

- 文理横断観点による入試科目の見直し促進
- 文理横断教育 P G（レイトスペシャライゼーション、ダブルメジャーなど）の取組支援
- 全学的データサイエンス教育の導入



理工農学系分野での女性活躍推進

女子学生確保に取り組む大学への運営費交付金・私学助成による支援



その他の取り組み

- 国際卓越研究大学による大学ファンド運用
- 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業



ルール厳格化

- **大学設置認可審査基準の厳格化**
審査項目の追加、収容定員充足率5割以下の学科擁する場合の申請不可
- **私学助成の見直し**
定員未充足・超過大の減額率見直し、情報非公開大への助成金減額
- **修学支援新制度の機関要件厳格化**
収容定員充足率3年連続 8 割未満の大学を制度対象外に

Part.2 入試の仕組み

大学入試の種類

総合型選抜

(旧：AO入試)

出願時期：9月以降

合格発表：11月以降

- 受験生の適性、志望動機を重視。面接を中心に時間をかけて選抜を行う。

学校推薦型 選抜

(旧：推薦入試)

出願時期：11月以降

合格発表：12月以降

- 名前の通り、原則学校長の推薦を受けることで受験できる入試。

一般選抜

(旧：一般入試)

試験期日：2/1～3/25

合格発表：3/31まで

- 主に学力試験で選抜を行う入試。

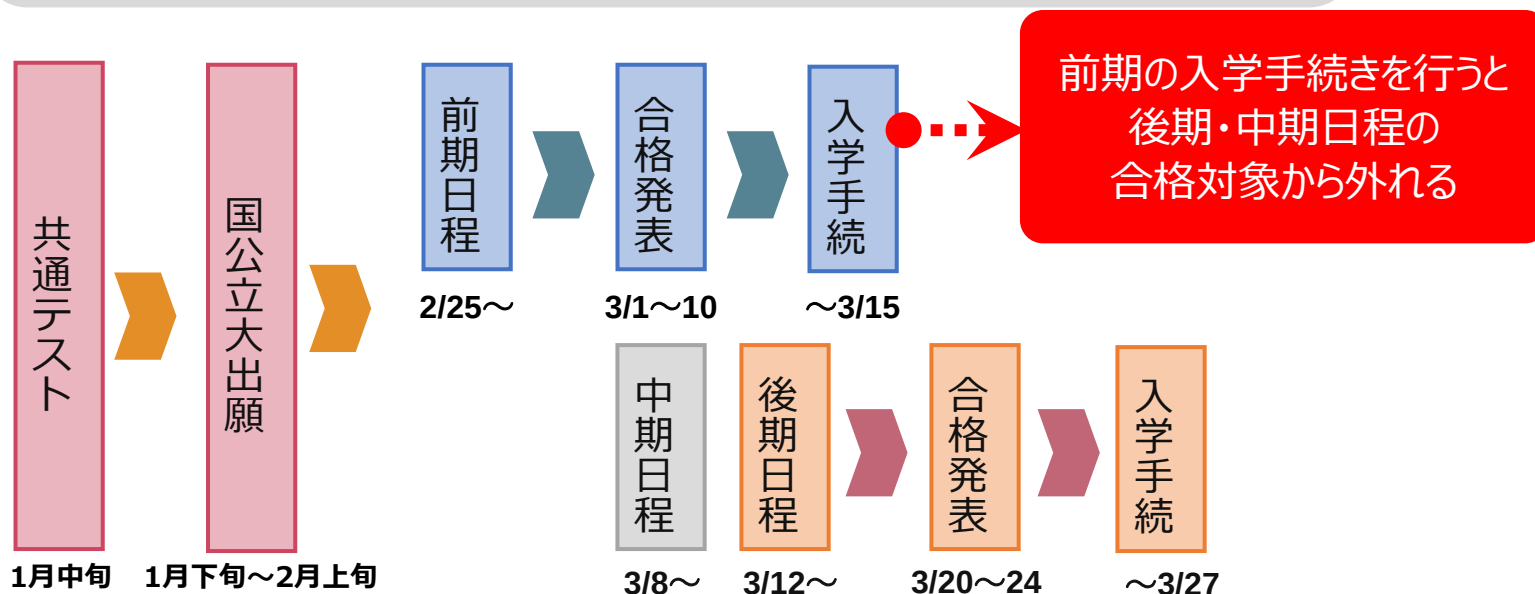
国公立大の一般選抜

ポイント① 共通テストと2次試験で合否判定



国公立大の一般選抜

ポイント② 2次試験は分離・分割方式で実施



- 国公立大学は最大3回（前期＋中期＋後期）の受験が可能
- 第1志望校は前期受験が鉄則

国公立大の一般選抜

共通テストの入試科目・配点は大学により異なる

共通テスト

2025年度入試より共通テストに教科「情報」が出題される

一見
大変そうですが…

●国立大学 8割近くが8科目以上を課す

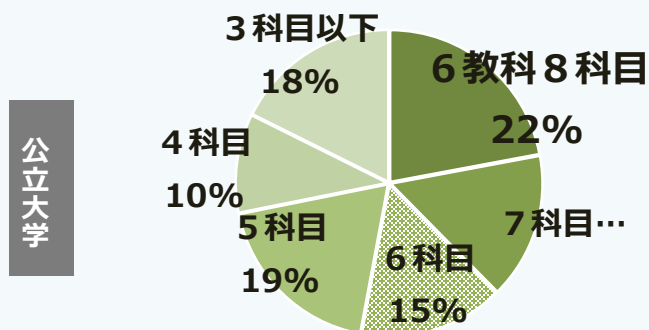
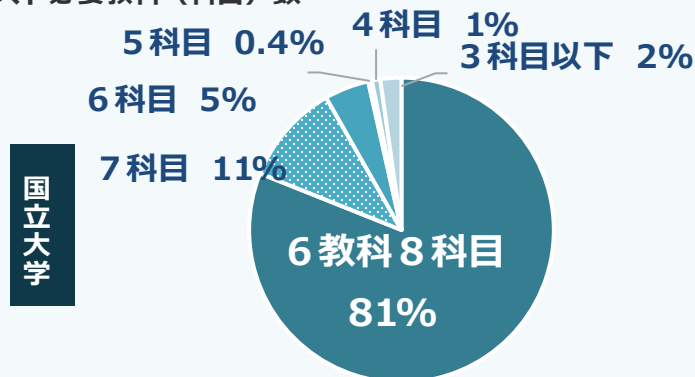
【文系】英・数2・国・理・地公2・情

【理系】英・数2・国・理2・地公・情 が一般的

●公立大学 8科目以上を課す大学は2割程度

理系学部は国立大学と同様の8科目が多い

共通テスト必要教科（科目）数



「一般方式」の特徴

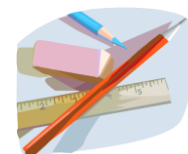
- **入試科目・問題は大学ごとに異なる**
- **教科数は2～3教科が一般的**
 - 《文系》 英・国・（地歴公民or数学）から2～3教科
 - 《理系》 英・数・理から2～3教科
- **複数の入試方式が設定されていることが多い**
少数教科型・得意科目重視型・英語外部試験利用型 etc.
- **受験生が受験しやすい配慮**
 - 入試日の複数化
 - 各都市に試験会場設置
 - 複数受験で受験料割引

「共通テスト利用方式」の特徴

- **共通テストのみの成績で合否が決まるのが主流**
- 受験料は一般方式と比べて**割安**
- 一般方式同様、複数の入試方式の設定目立つ
- 教科数は**2～3教科**が一般的
- 一般方式と組み合わせ合否判定を行う**併用型もあり**



私立大受験では経済的・体力的な負担が軽い
共通テスト利用方式をうまく活用したい



学校推薦型選抜とは？

学校長の推薦が原則必要
ポイント① 出願条件に学業成績基準・現浪制限などあり

公募制

- 出願条件をクリアすればどの高校からも出願可能
- 私立大では併願を認める大学も多い

指定校

- 大学が指定する高校の生徒が対象
- 専願での出願が基本…合格率は高い

その他

- 有資格者推薦・スポーツ推薦・課外活動推薦など

- 一般選抜・学校推薦型選抜に次ぐ**第3の入試**
- 出願期間は**9月1日**からスタートと、最も早い入試
- 書類や面接等で能力・適性・意欲等を**総合的に判定**
- **高い学習意欲・明確な目的意識**が必須
面接を中心に**時間をかけて**適性・能力が判定される
- **学力を確認する評価も必須**

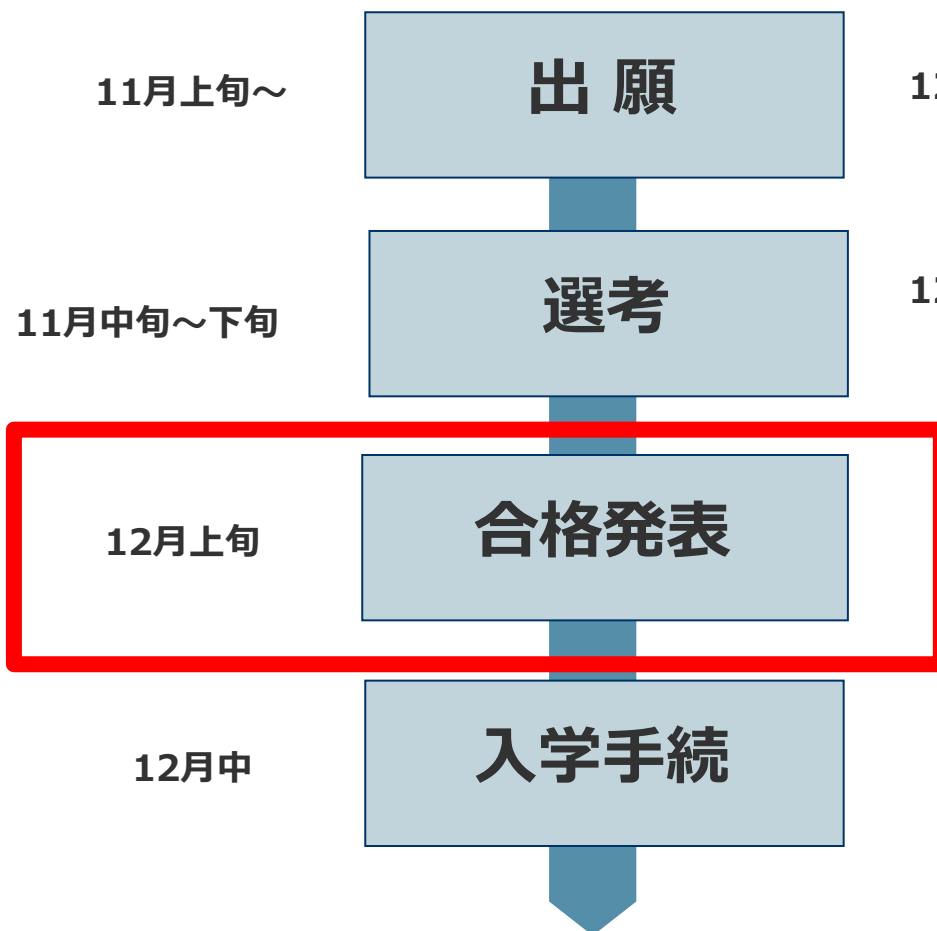
たとえば…小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、学科試験、資格・検定試験の成績、共通テストなど

- **国公立大、難関私立大では
高倍率入試も目立つ**



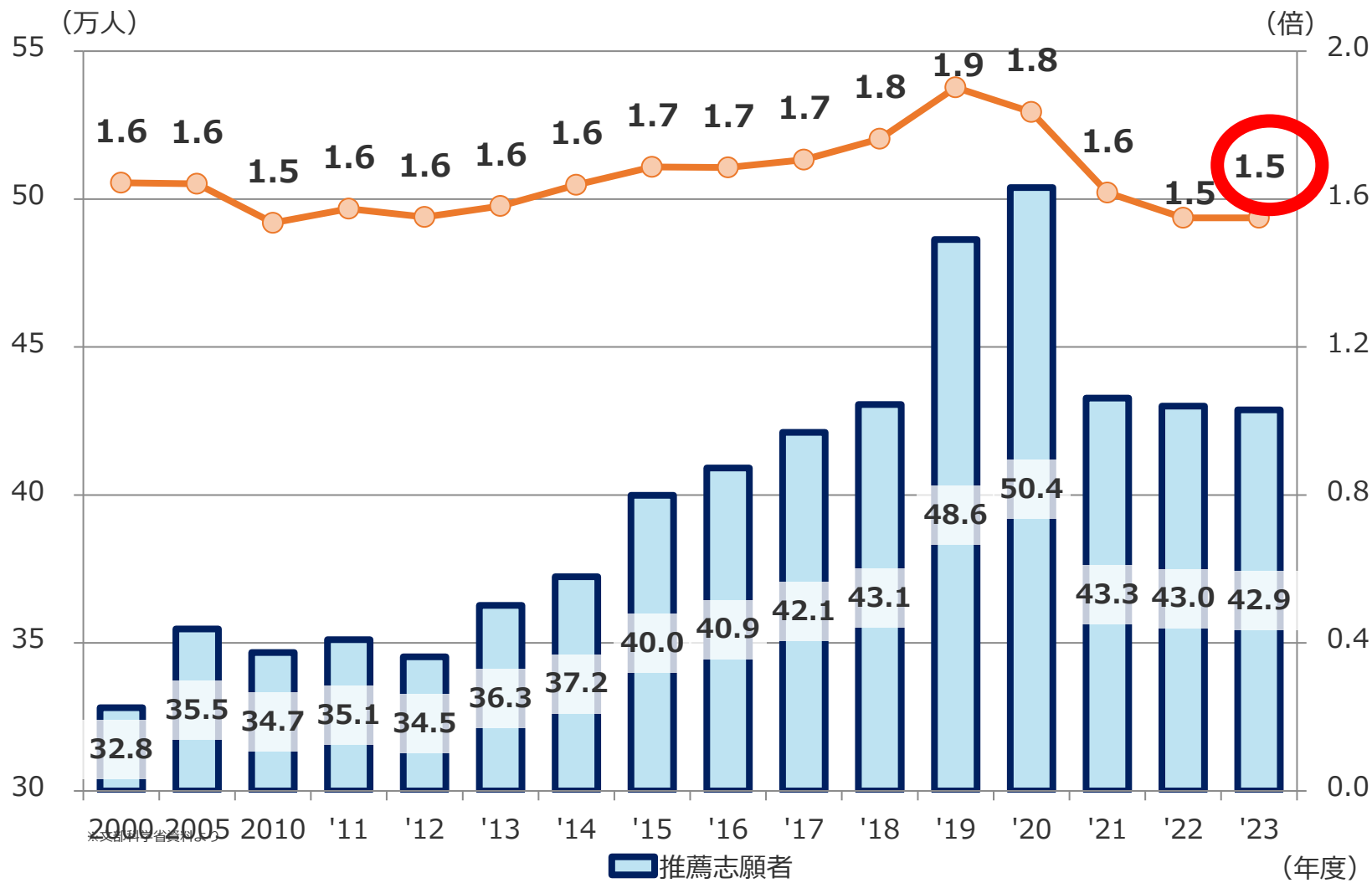
ポイント 一般選抜よりも早いスケジュール
国公立大は共通テストを利用する場合あり

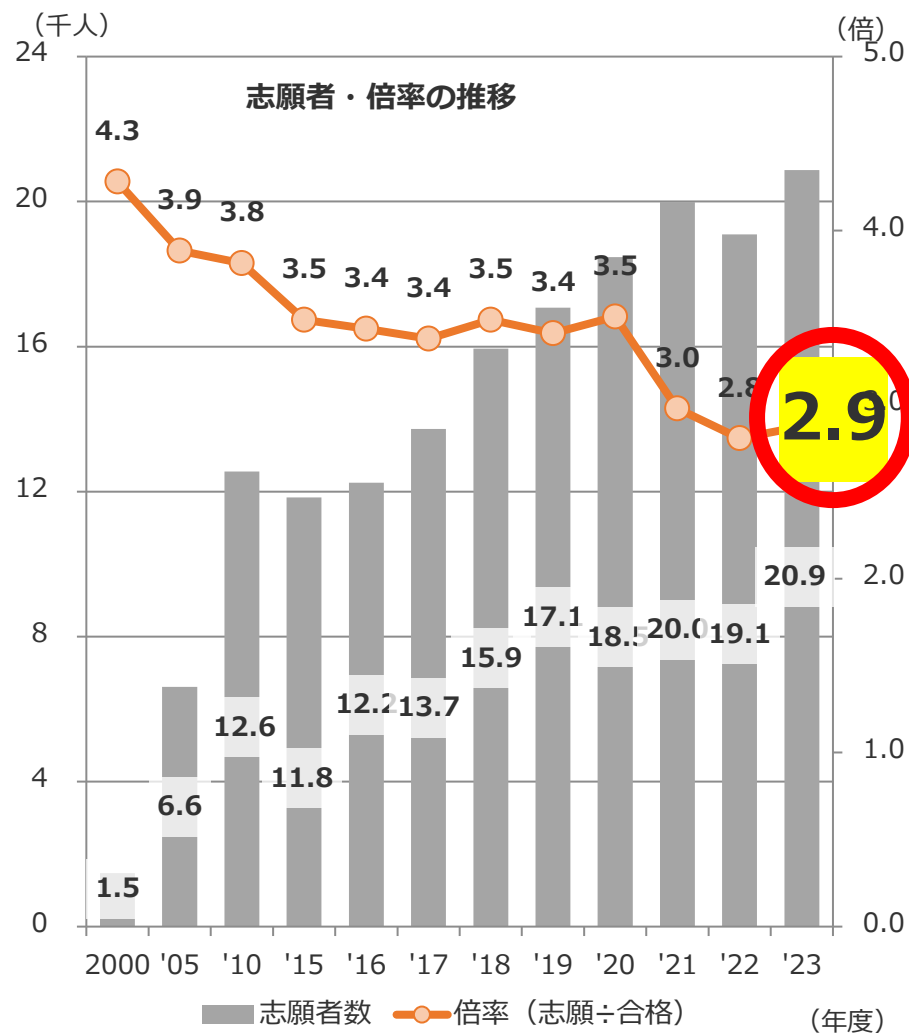
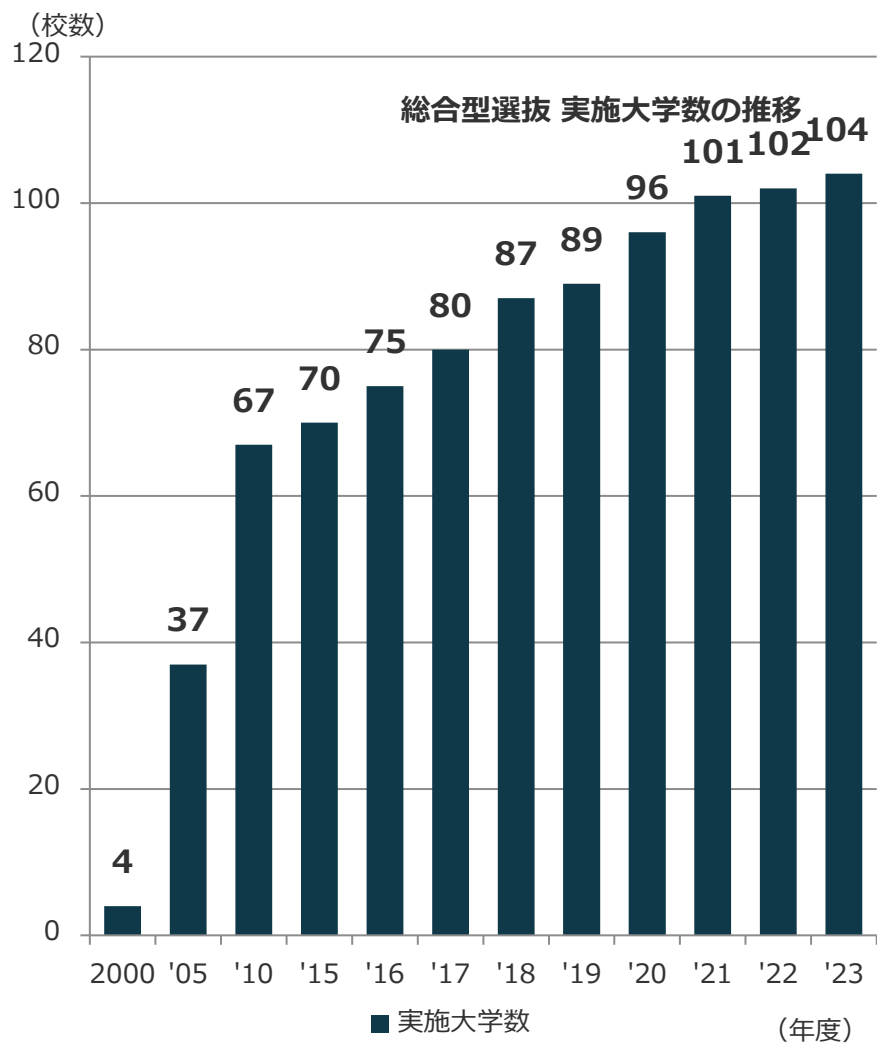
<一般的な入試スケジュール>



<国公立大の共通テストを課すタイプ>



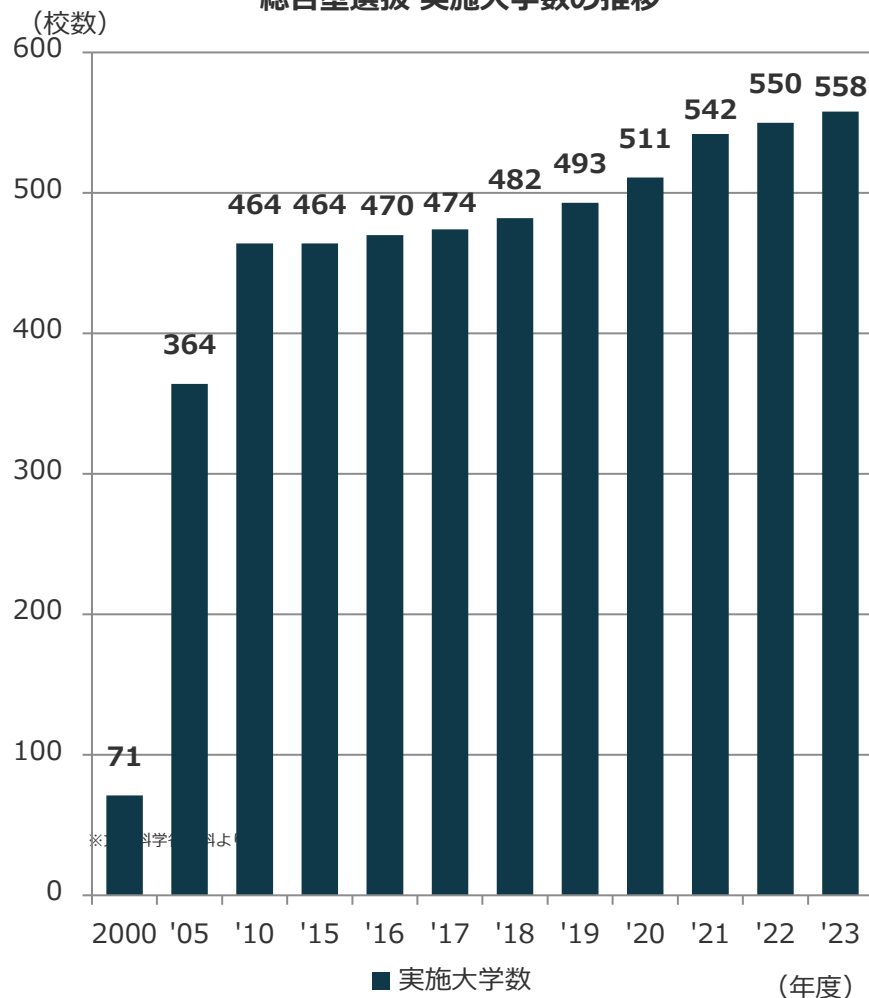




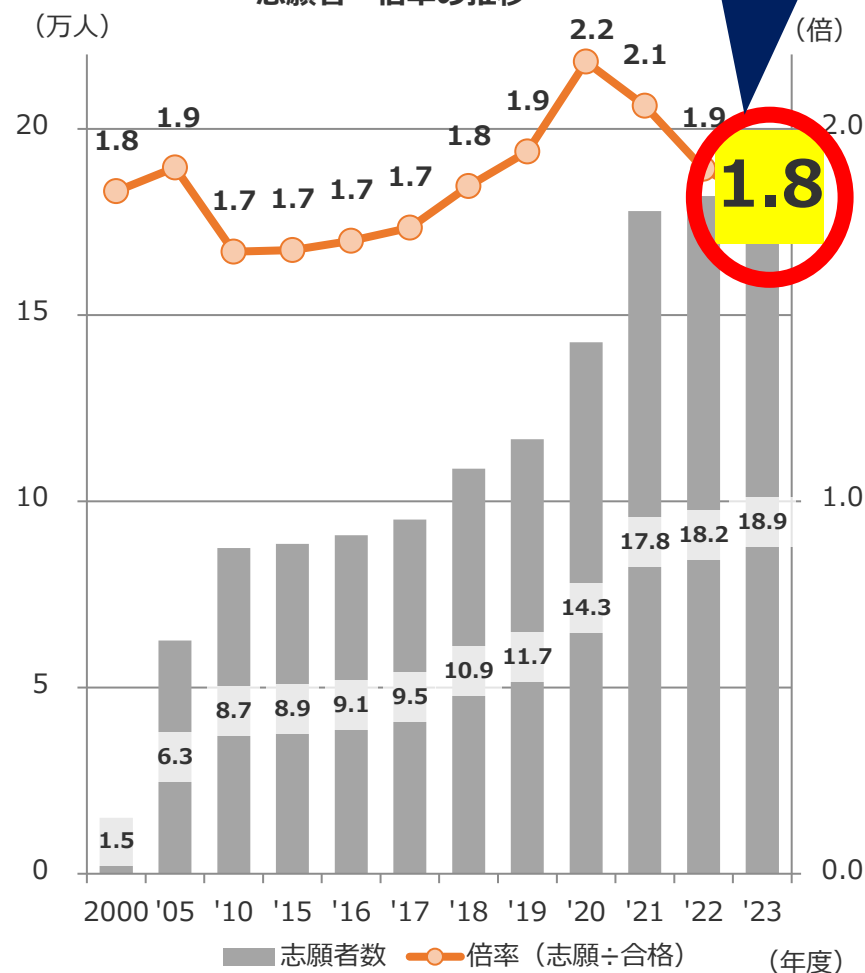
30 総合型選抜の実施状況（私立大）

全員が合格している
わけではない！

総合型選抜 実施大学数の推移



志願者・倍率の推移



参考：私立大学総数622校

Part. 3

これからの学習のポイント

1. 勉強量不足
2. 勉強の開始が遅れた
3. 目標となる志望大学を決めるのが遅かった
4. 計画性がない・集中力がない
5. 基礎力不足
6. 苦手科目を克服できなかった
7. 自分の学力レベルを把握せず大学を受けた
8. 本番で体調を崩した

高卒生には大学受験の経験値があります。
現役生はそれに負けない自信をつけておくこと！

自宅での平均学習時間は？

	1 学期		夏休み	2 学期		冬休み	3 学期	
	平日	休日		平日	休日		平日	休日
高1生	2.0	2.7	4.1	2.2	2.7	3.5	2.2	2.8
高2生	2.4	3.0	4.5	2.5	3.0	4.2	2.5	3.2
高3生	2.9	4.3	6.4	4.0	6.3	7.8	6.3	7.4
高卒生	3.4	5.5	6.7	4.2	6.5	7.7	6.5	7.5

学力を向上させるためには学習の**質と量**が重要です

1・2年生

3年生

高卒生もライバル！

高1・2から部活・学習を両立する理想的なパターン！

1・2年で学習する
内容を習得できている。

この時期のつまずきは致命傷です。
1年からの積み重ねが必要です。

応用問題

共通テスト対策

地公・理科
対策

二次・私大試験対策

●私立大一般入試・
国公立大二次試験
●共通テスト

高3から受験勉強を始める失敗パターン！

1・2年で学習する
内容が習得できていない。

英・国の
高1・2学習範囲

苦手分野の克服

応用問題

地公・理科
対策

演習不足
共通テスト
対策間に合わず

めざせ現役合格

実は**差**がつく

「理科」「地歴・公民」に、いち早く取り組もう！

●現役生の弱点。それは理科、地歴・公民。

科 目		実施	平均総合偏差値	
			現役生	高卒生
英 語			48.7	55.8
数 学	Ⅱ型		48.9	57.5
	Ⅲ型		48.1	55.3
国語（現古漢）			49.2	56.1
理 科	物 理		47.7	57.4
	化 学		47.6	57.7
	生 物		48.2	56.0
地 歴・公 民	日本史		48.8	59.8
	世界史		48.8	58.2
	地 理		48.2	59.3
	政 経		48.8	62.5

現役生は、高3の5月時点で、主要科目と比べ「理科、地歴・公民」の偏差値が高卒生と

10ポイントほど**差**がついている。

主要科目に学習が偏りがちな現役生。しかし、理科、地歴・公民の学習量は非常に多いのです。

この**差**を縮めるためにも、理科、地歴・公民の対策を急ぐ必要があります。入試本番から逆算して、早期対策を！

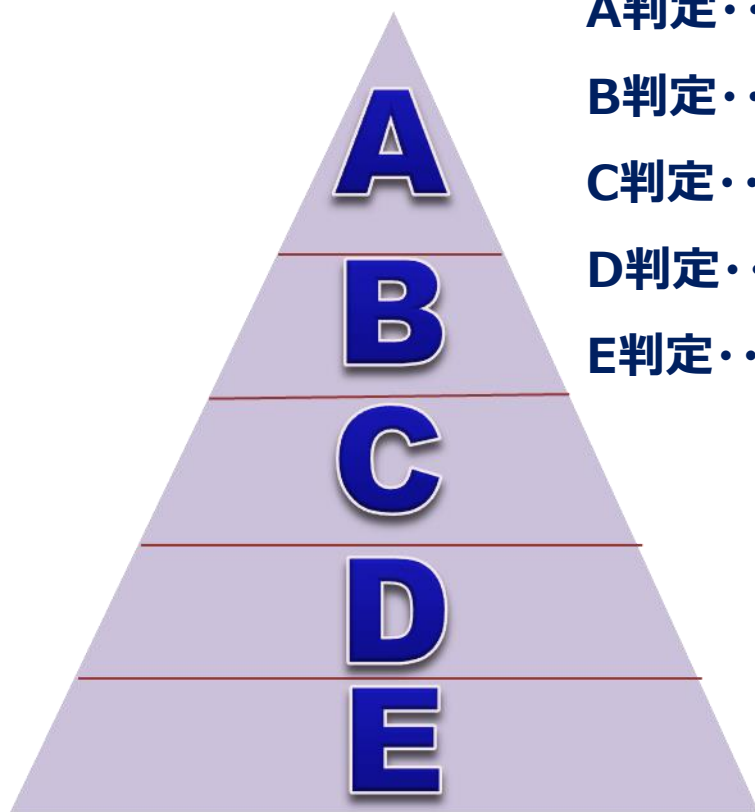
現役生の理科、地歴・公民の取り組みは「遅れがち」！

理科・地歴公民にいち早く取り組む為には英語・数学・国語の対策も前倒しで進める必要があります！

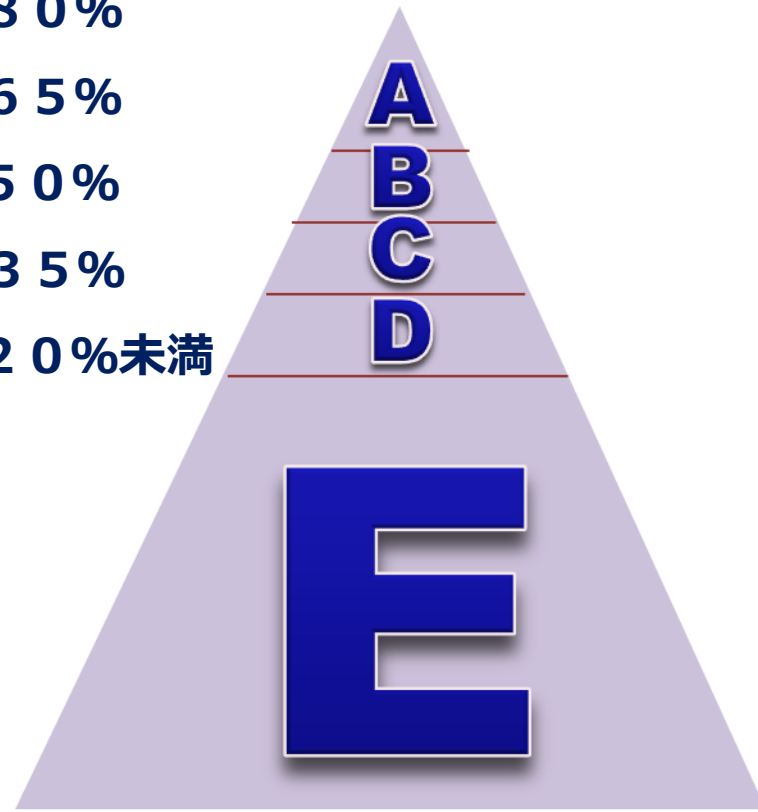
(誤)



(正)



A判定・・・合格可能性 80 %
 B判定・・・合格可能性 65 %
 C判定・・・合格可能性 50 %
 D判定・・・合格可能性 35 %
 E判定・・・合格可能性 20 %未満



日々の勉強 = 受験勉強

応用力は一朝一夕には身につかない

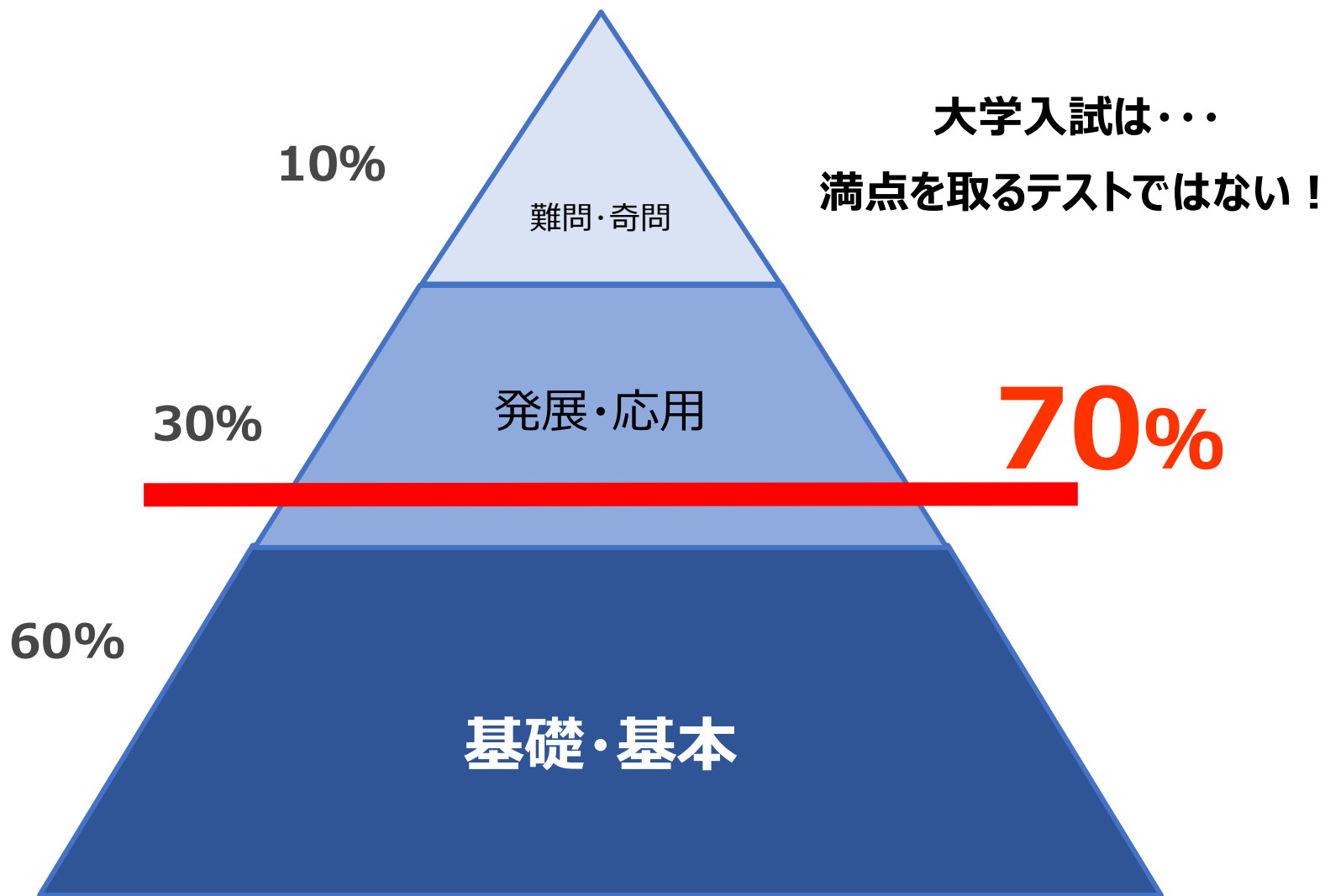
普段の学習内容が入試問題を解くための土台

となることを意識して取り組むことが重要

入試の勝ち筋は

正答率の高い問題を確実に正解すること

正答率の低い難問は解けた方が有利だが合否を分けるわけではない



 一番大切：基礎・標準問題を大切にする

基本的な単語は完璧に覚えることが重要です。単語を覚えずして受験英語に取り組もうというのは、足し算もできないのに数学に取り組もうとしているのと同じです。それと並行して、**文法を完成させてほしい**と思います。私は浪人してから文法をしっかりとやり始めましたが、**文法が完璧になれば受験英語の能力は飛躍的にあがります**。空所補充や、並び替え問題、解釈、英作文、これら全てにおいて単語と文法は要です。読解も訳して意味が正確に取れば精度があがります。**単語と文法は本当に大切なので、絶対に完璧（に近い状態）にしてほしいです。**
(Kei-Net特派員 英語の勉強方法について)

2次試験の数学は難しい問題ばかりですが、**基本的なことが大事**なので**教科書を見直し**て、理解があやふやだった**公式などの理解**に努めました。学校で買った問題集や過去問で問題演習を積みましたが、**解き直し**をすることで自分が本当に理解できているのか確かめるのが大切だと思いました。
(Kei-Net特派員 数学の勉強方法について)



- **不安になった理由（高3の1年間）**

春～夏	漠然とした不安
春～夏	志望校の迷い
秋～冬	模試の結果
秋～冬	地歴・理科の遅れ
冬～本番	本番への不安
本番	共通テスト・私立大の失敗

みんな同じ悩みを抱えています

